

「平成30年度日本語教育総合調査」～日本語の能力評価の仕組みについて～  
調査結果概要

## 1 調査の趣旨

国内外で実施されている第二言語及び外国語としての日本語の能力評価の仕組みの実態について調査し、現状を把握する基礎資料とすることを目的とする。

## 2 実施時期

平成30年8月～平成31年3月

## 3 調査内容

### ■ 調査項目

- 試験又は能力評価の名称, 目的
- 実施主体の概要, 実施主体に対する公的支援の有無・概要
- 受験者数, 合否が出る場合には合格者数, 合否が出ず得点のみの場合には得点層ごとの人数分布, 受験者の属性 (国籍, 年齢, 学習期間等), それぞれ過去5年分
- 能力評価の仕組みの概要 (実施時期, 年間実施回数, 実施地, 出題範囲, 筆記試験の問題数と時間, 筆記試験における選択問題と記述問題の配分, 聴解試験の有無と時間, 口頭回答テストの有無と時間, コンピュータ利用テストの実施の有無, テスト以外の評価仕組みの有無, 試験結果が級又は得点によるものか, 結果通知方法)
- 受験費用, 受験費用の公的支援の仕組み
- 能力評価の結果の持つ社会における効果 (例: 特定の在留資格の取得又は更新に必須又は有利, 大学等の教育機関の入学に必須又は有利, 特定の職業での就労に必須又は有利, 特定の社会保障制度の利用のために必須又は有利, など)
- 能力評価の基準 (評価する能力・技能に関する能力記述, 合否判定基準等)
- 大問又は小問ごとに測定しようとしている能力
- 「言語のためのヨーロッパ共通参照枠 (Common European)」  
(※言語能力を評価する国際指標) への準拠状況 等

### ■ 対象

国内外で実施されている第二言語及び外国語としての主な日本語の能力評価 (調査対象については、有識者会議での検討を経た上で決定)

- 日本語能力試験
- BJT ビジネス日本語能力テスト
- 日本留学試験 (EJU)
- J. TEST 実用日本語検定
- 日本語 NAT-TEST
- J-Cert 生活・職能日本語検定
- 標準ビジネス日本語テスト (STBJ)
- JLCT (外国人日本語能力検定)
- JPT 日本語能力試験
- 実用日本語運用能力試験 Top. J
- 実践日本語コミュニケーション検定 (PJC) / 実践日本語コミュニケーション検定・ブリッジ (PJC Bridge)
- J-CAT 日本語テスト
- とよた日本語能力判定
- 口頭ビジネス日本語試験 ONiT
- ACTFL- OPI
- アルクの電話による日本語会話テスト JSST

### ■ 方法

各評価機能のオフィシャルwebサイト, 文献調査, 並びにeメールによる調査票の発送。一部評価機能に対しては訪問ヒアリング調査を実施。

### 3 調査結果概要

#### 3-1 国内外で実施されている第二言語及び外国語としての日本語の能力評価の仕組みの調査結果概要

国内外で実施されている第二言語及び外国語としての日本語の能力評価の仕組み「目的～受験費用」の概要は下表のとおり。

能力評価の名称	目的	主な能力評価対象	主な活用対象 (能力評価の結果の持つ社会における効果)	実施主体	実施主体への公的支援の有無	受験者数等	年間実施回数	実施地	試験の種類 (四技能) <input checked="" type="checkbox"/> :有 <input type="checkbox"/> :無	PC利用 テスト実施の有無	採点方法	IRT(項目応答理論)導入状況	試験問題持ち帰りの可否	結果通知方法	受験費用
日本語能力試験	日本語能力を測定し、認定することを目的とする。	原則として日本語を母語としない人	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 特定職務認定試験受験要件/資格取得要件/選定要件 ● 奨学金等申請要件	● 国際交流基金と日本国際教育支援協会の共催 ● 海外では国際交流基金が各地機関の協力を得て実施。(台湾では公益財団法人日本台湾交流協会と共催で実施。)日本国内では日本国際教育支援協会が実施	無	● 受験者数(2017年) 国内 306,676人 海外 580,704人	2回	海外 80カ国・地域 国内 47都道府県	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識(文字・語彙、文法))	無	● マークシート式回答を機械で読み込み採点 ● 日本語教育、心理統計分野の専門家が得点および試験全体の動向を確認 ● IRTに基づいてスコアを算出	有	否	● 日本国内受験者:受験者全員に「合否結果通知書」,さらに合格者には「日本語能力認定書」を送付 ● 海外受験者:受験者全員に「認定結果及び成績書」,さらに合格者には「日本語能力認定書」を送付	● 5,500円(日本国内) 実施都市によって異なる(海外)
BJT ビジネス日本語能力テスト	ビジネス場面で必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定することを目的とする。	日本語を母語としないビジネスパーソンが主な対象	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 特定職務認定試験受験要件/資格取得要件/選定要件 ● 早稲田(中国・台湾)卒業要件(台湾)	日本漢字能力検定協会	無	● 受験者数(国内・海外) 2017年 3,545人	随時	国内 26都市 海外 17か国と1地域	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語の基礎力:語彙・文法,敬語・待遇表現)	有	● 受験者がPC画面上で入力した解答を即時採点 ● IRTに基づいてスコアを算出	有	否	● 受験後すぐに入力した解答をレポートを交付 ● ヒアソンVUEのウェブサイトで受験結果を確認でき,翌日以降に成績認定書をダウンロード可能	● 6,999円 ● 公的支援: ①留学生就職支援事業における受験料の全額・一部補助 ②文部科学省「留学生就職促進事業」における学習支援
日本語試験(EJU)	日本の大学等で必要とする日本語力(アカデミック・シヤパニーズ)及び基礎学力の評価を行うことを目的とする。	外国人留学生として,日本の大学(学部)等に入学を希望する者	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 企業内での評価基準	日本学生支援機構	有	● 受験者数: 平成30年度第1回 29294人	2回	国内 16カ所 海外 18カ所	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input checked="" type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input type="checkbox"/> その他( )	無	● 読解・聴解・聴読解 ● マークシート式回答を電算処理により採点 ● IRTに基づいてスコアを算出 ● 記述 ● 記述式回答を採点基準に基づき採点者が採点(回答ペーパーに受験者が直接記入,それを試験終了後に,別の採点会場等にて採点者が採点を実施)	有	否	● 指定日に通知オンライン掲載有	● 国内(1科目のみの受験者) 7,560円 (2科目以上の受験者) 14,040円
J.TEST 実用日本語検定	日本語能力を測定することを目的とする。	日本語を母語としない日本語学習者	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 企業内での評価基準	株式会社語文研究社「日本語検定協会」 J.TEST事務局	無	● 受験者数 直近1年間(2017年10月~2018年9月):45,257人	6回	国内 4都市 海外 12カ国	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input checked="" type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識:文法・語彙・漢字力)	無	● 読解・聴解試験 ● マークシート式回答を機械で読み込み採点 ● 記述試験 ● 記述式回答を複数の採点担当者が採点	無	可	● 試験日から約4週間後に郵送レベル認定者には認定証も同封 ● 試験実施後約3週間ウェブサイトで検索可能	● 4,300円(個人) (2019年5月より) 4,800円 (日本の学校に在籍する中学生及び高校生は受験料免除) ● 3,000円(団体) (2019年5月より) 3,500円
日本語 NAT-TEST	日本語能力を測定することを目的とする。	日本語を母語としない日本語学習者	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置	● 専門教育出版「日本語 NAT-TEST 運営委員会」 ● 海外での試験は,各国の運営本部が同委員会の指導・監督の下,厳正に実施	無	● 受験者数 2017年 83,644人	66回	16か国 55都市	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識:文字・語彙・文法)	無	マークシート式回答を機械で読み込み採点	無	否	● 試験日から3週間以内に成績表を送付。ウェブサイトに合格者名も掲載。 ● 並行して「成績表」「合格証(合格者のみ)」を発行。	● 5,000円(日本国内)

能力評価の名称	目的	主な能力評価対象	主な活用対象 (能力評価の結果の持つ社会における効果)	実施主体	実施主体への公的支援の有無	受験者数等	年間実施回数	実施地	試験の種類 (四技能) <input checked="" type="checkbox"/> :有 <input type="checkbox"/> :無	PC利用テスト実施の有無	採点方法	IRT(項目応答理論)導入状況	試験問題持ち帰りの可否	結果通知方法	受験費用
J-Cert 生活・職能日本語検定	日本語習熟度の検定試験を行い、日本への留学・研修ないしは日本企業への就職に役立たせることを目的とする。	日本語を母語としない内外の外国人	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 日本語教育機関及び大学・専修学校等の在留資格申請時の日本語能力評価証明 ● 就職採用試験等における日本語能力証明	公益財団法人国際人財開発機構	無	● 受験者数 2017年第3回 2,855人	1回 ～ 4回 による	国内・海外の指定校で実施	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input checked="" type="checkbox"/> 記述(書く) <input checked="" type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識:文字・語彙・文法)	無	● 社会文化、聴解、文字・語彙・文法試験、筆記総合マークシート式回答を機械で読み込み採点 ● 口述試験 録音された会話を複数の採点担当者が確認して採点	無	● 受験後、4週間以内に合否通知ハガキを自宅、または所属団体に郵送。 ● 合格者のハガキには認定書を記載 ● 希望者には別途料金にてカードタイプ・賞状タイプの認定証を発行。 ● 希望者には別途料金にてカードタイプ・賞状タイプの認定証を発行	● マスターコース検定 15,000円 ● Aコース検定 5,000円 ● Bコース検定 4,000円 ※国内料金	
標準ビジネス日本語テスト (STBJ)	「日本語を使って仕事をやる総合的な日本語能力」の測定を目的とする。	日本企業や日系企業の外国人従業員や就職を希望する外国人日本語学習者	● 出入国管理上の優遇措置 ● 特定職務 認定試験受験要件/選定要件	応用日本語教育協会	-	受験者数:-	4回	定期実施 中国 ベトナム スリランカ 他 不定期	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input checked="" type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識:語彙)	-	マークシート式回答を機械で読み込み採点	-	-	-	-
JLCT(外国人日本語能力検定)	言語コミュニケーション能力を測ることを目的とする。	日本語を母語としない外国人	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 特定職務 認定試験受験要件/選定要件 ● 奨学金等申請要件	● 一般社団法人外国人日本語能力検定機構(JLCT) ● 上記実施主体の運営母体は一般社団法人日本漢字習熟度検定協会	無	● 2017年海外受験者数:9,201人 ● 2017年は国内受験なし。 ※2019年より国内実施予定(東京、大阪、名古屋)	4回	23カ国	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識:文字・語彙・文法)	中国の一部で導入予定	● マークシート式回答を機械で読み込み採点	無	● 国内受験者には社団本部から、海外受験者には海外の各エージェントから通知 ● 合格者全員に合格証書と成績通知書を各国内エージェント宛て送付。所定手続を行った者には日本国内の学校宛に成績通知書を発行	● ベトナム 700,000VND ● フィリピン 1,500php ● インドネシア 400,000Rp ● カンボジア 30US\$ ● モンゴル 4,500LKR 等	
JPT 日本語能力試験	ビジネスを含む日常生活的な場面、状況において、高度で機能的なコミュニケーション能力を客観的に測定、評価することを目的としている。	日本語を母語としないビジネスパーソン日本語学習者	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措置 ● 特定職務 認定試験受験要件/選定要件 ● 奨学金等申請要件	駿河台学園グループと韓国の YBM による共催	-	受験者数:-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input type="checkbox"/> その他( )	無	-	「Conversion Table」採用	否	-	インターネット申込 7,000円 / 70,000ウォン
実用日本語運用能力試験 TopJ	日本語を外国語として勉強している学習者には、語彙や文法、文型などの基礎能力を測定することにより、日本に滞在している外国人の生活や仕事などにおけるコミュニケーションの中で、疑問点を通して、日本企業また日系企業との文化に對する理解能力を測定することも目的としている。	日本語を母語としない外国人 ● 日本語を外国語として勉強している外国人に滞在している外国人の生活や仕事などにおけるコミュニケーションの中で、疑問点を通して、日本企業また日系企業との文化に對する理解能力を測定することも目的としている。	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 特定職務 認定試験受験要件/選定要件 ● 奨学金等申請要件	アジア国際交流奨学財団	無	● 受験者数 2017年 26,964人	6回	8カ国	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input type="checkbox"/> その他( )	無	マークシート式回答を機械で読み込み採点	無 (IRT理論と同様の作問見直しについて独自の手法を導入して、信頼できる大学の協力ののもと、質の保証を継続的に実施)	● 試験結果検索ページで、試験の決定級・得点の結果等を調べることが出来る。 ● 個人に試験結果通知並びに認定証を送付。	● 初級 4,000円 ● 中級 4,500円 ● 上級 5,000円	

能力評価の名称	目的	主な能力評価対象	主な活用対象 (能力評価の結果の持つ 社会における効果)	実施主体	実施主体への 公的支援の有無	受験者数等	年間実施回数	実施地	試験の種類 (四技能) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	PC 利用 テスト 実施 の有無	採点方法	IRT(項目 管理論)導入 状況	試験問 題持ち 帰りの 可否	結果通知方法	受験費用
実践日本語 コミュニケーション 検定(PJC)/ 実践日本語 コミュニケーション 検定・ブリッジ (PJC Bridge)	PJC:日本で就労 する際に必要とさ れる日本語能力試 験N1~N2相当の 「ビジネス会話レベ ル」の日本語コミュ ニケーション能力を 測定することを目 的とする。 PJC Bridge:日本 での就学に必要なと される日本語能力 試験N5~N3レベ ルの基礎的な日本 語能力を測定する ことを目的とする。	日本語を 母語とし ない者	● 語学力の証明 ● 大学等入学選抜 ● 出入国管理上の優遇措 置	株式会社サテライトア イ「コミュニケーション 能力認定委員会」	無	● 受験者数(国内) 2017年度 PJC:2,106人 PJC Bridge: 3,661人	一斉は 1回 団体は 随時	一斉試験 は 東京 大阪 福岡 ※年度毎 に異なる 団体は 実施 日・会 場とも 自由に 設定	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(PJC Bridgeのみ「言語 知識・語彙、表現」も 測定)	有	マークシート式回答を機械で読 み込み採点	無	否	● ペーパー試験 マークシート返 送から2週間 程度でレベル 証明書を交付。 ● Web 試験 結果は試験後 即時で画面表 示。レベル証明 書は試験後1週 間以内に後追 いで送付。	● 評価試験(ペーパー試 験) 4,900円 ● 評価試験(Web 試験) 4,300円 ● アセスメント試験 2,100円
J-CAT 日 本語テスト	日本語のeラーニ ング教材開発、ICT 技術に基づくリステ ン開発を行い、イン ターネットを通して 日本語教育機関に 幅広く提供すること により、日本語・日 本事情教育を発展 させることを目的と する。	● 日本語を 母語としな い者	● 日本語の熟達度の推定	筑波大学「グローバル コミュニケーション教 育センター日本語日 本事情遠隔教育拠 点」	有	● 受験者数: 2017年度 23,830人 2016年度 17,814人	随時	自宅・学校 教室	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(文法、語 彙)	有	● 受験者がPC画面上で入力 した解答を即時自動採点 ● IRTに基づいてスコアを算出	有	● テスト終了と同 時に得点が表 示	● 2020年3月まで無料 2020年4月以降につ いては、一般社団法人日 本語教育支援協会が主 催し有料となる予定	
とよた日本 語能力判定	日本語の会話力、 読み書き能力を測 るための試験。本テ ストの特徴は、生活 者としての外国人を 取り巻く環境や背 景を考慮して問題 が構成されており、 市内の地域(自治 区)や企業で活用 される。	● 豊田市内 に在住・在 勤の日本 語を母語とし ない外国人	● 語学力の証明	豊田市国際まちづくり 推進課および名古屋 大学国際言語センタ ー衣川研究室	有	● 受験者数: 2017年度 対象者判定 241 人 ・レベル判定 5人	平成29 年度実 績 14回	1. 企業内 での日 本語教 室 2. 地域 での日 本語教 室	<input checked="" type="checkbox"/> 読解(読む) <input checked="" type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input checked="" type="checkbox"/> 記述(書く) <input checked="" type="checkbox"/> 口述(話す) <input type="checkbox"/> その他( )	有	● 対象者判定 ➢ 「対象者判定の手引き」 に沿って採点。採点后 は、フローチャートに基づ きレベルを判定 ● レベル判定 ➢ とよた日本語能力判定ワ ーキンググループ(名古屋 大学拠点)のメンバー によりテストを実施。採点 についても本ワーキング グループで検討しながら 採点およびレベルを判定	無	● 対象者判定 ➢ 「対象者判定の手引き」 に沿って採点。採点后 は、フローチャートに基づ きレベルを判定 ● レベル判定 ➢ とよた日本語能力判定ワ ーキンググループ(名古屋 大学拠点)のメンバー によりテストを実施。採点 についても本ワーキング グループで検討しながら 採点およびレベルを判定	無料(豊田市の事業の ため)	
口頭ビジネス 日本語試 験 ONIT	ONITは Oral Nihongo Test(口 頭ビジネス日本語 試験)の略称で、ビ ジネス場面における 日本語の口頭能力 をコンピュータを用 いて測定する試験 (CBT)。問題は音 声や画像で提示。	主に日本 語を母語 としない者	● 語学力の証明 特定職務 認定試験受験 要件/資格取得要件/選定 要件	有限会社アイシーアイ	無	● 受験者数: 2018年1~8月 19人	随時 (受付 後、 ONIT 担当者 と、メー ルにて 日程調 整し受 験日決 定)	団体受 験は、団 体と打 合せの 上、受 験会場 を決定 してい る。現在 はアイ シーア イ会場 (東京) のみ	<input type="checkbox"/> 読解(読む) <input type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input checked="" type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(6つの評 価観点:発音、文法、 語彙、流暢さ、構成、 聞き手への配慮/場 面に応じた言葉遣 い)	有	● 口述試験 ➢ ビジネス場面における日 本語の口頭能力をコンピ ュータで測定 ➢ 問題は音声や画像で提 示。録音された回答デー タを認定クレーターが評 価基準に沿って採点	無	約1か月後、受験 者もしくは企業ご 担当者へ評価結 果を記載した「公 式評価レポート」 を送付	● 受験料 ¥15,000+税/回 ※追加でコンサルト インクを希望の場合 ¥5,000+税/回	

能力評価の名称	目的	主な能力評価対象	主な活用対象 (能力評価の結果の持つ社会における効果)	実施主体	実施主体への公的支援の有無	受験者数等	年間実施回数	実施地	試験の種類 (四技能) <input checked="" type="checkbox"/> :有 <input type="checkbox"/> :無	PC利用 テスト実施の有無	採点方法	IRT(項目管理論)導入状況	試験問題持ち帰りの可否	結果通知方法	受験費用
ACTFL-OPI	ACTFLによって開発された汎言語的に使える会話能力テスト。「OPI」とは、oral proficiency interview(オーラル・プロファイニング・インタビュー)の頭文字で、外国語の口頭運用能力を測定するためのインタビュート。	●日本語を母語としなない者を対象に日本語の口頭運用能力を測定する。	●語学力の証明	ACTFL(全米外国語教育協会)。	-	●受験者数:-	実施機関にメールで申込	2団体で実施	<input type="checkbox"/> 読解(読む) <input type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input checked="" type="checkbox"/> 口述(話す) <input type="checkbox"/> その他( )	有	●口述試験 ➢ 終了後に OPI を行ったテストが録音を聞き直し、ガイドラインに照らしながら、被験者の口頭運用能力がどのレベルにあるかを判定 ➢ 正式な ACTFL としての判定結果を出すためには、さらに第2テストが同じテープを聞き、その結果が第1テストと一致したとき、初めて判定を決定 ● 第1テストと第2テストの判定が異なったときは、第3テストが判定に加わる	-	-	2~4週間後にメール送付。アカウンタートを通じて結果確認	●134ドル
アルクの電話による日本語会話テスト JSST	日本会話力テスト。日本語に関する知識を「その時、その場」で組み合わせ、話を創造する力を測る。	●日本語を母語としなないヒジネスパーソン	●語学力の証明 ●特定職務 認定試験受験要件/資格取得要件/選定要件	株式会社アルク	無	●受験者数: 2017年 1,200人	随時	場所を問わず	<input type="checkbox"/> 読解(読む) <input type="checkbox"/> 聴解(聞く) <input type="checkbox"/> 記述(書く) <input checked="" type="checkbox"/> 口述(話す) <input checked="" type="checkbox"/> その他(言語知識:文法, 語彙, 発音, 流暢さ, 単語)	無	●口述試験 録音された会話を複数の採点担当者が確認して採点	無	否	申込者にメール通知	●コメントシート付 税抜 5,500 円 ●コメントシートなし(スコアレポートのみ) 税抜 4,500 円